

第4学年 総合的な学習の時間（かけはしタイム）学習指導案

日 時 令和3年9月4日（土）

子ども 4年

〈授業の見どころ〉

I 単元名

盛岡のよさを広げよう「地域のよさ（中津川を中心に）とそれを大切にしようとする人々」
（第4学年：25時間扱い）

一人一人が調べて分かったことをもとに整理したり、分析したりして、伝えたい中津川のよさに迫ります。

II 単元の指導構想

1 単元について

- 子どもたちは、昨年度の総合的な学習の時間において、学区の安全とそれにかかわる施設の人々や学区の歴史とそれを大切にしようとする人々について、それぞれが抱いた疑問を出発点に探究活動を進めてきた。調査活動においては、本やインターネット、インタビュー活動を通して情報を収集し、それをまとめる活動を行ってきた。

子どもたちは、自分の思いをもって意欲的に探究活動を行い、情報を収集し、まとめることができる。しかし、課題をより深く追究していこうという意欲が弱く、情報の収集や学んだことの発信の方法について、自分の身近な相手や簡単にできる方法にとどまっている現状が見られる。今後は題材に対する課題意識を高め、必要感をもって探究活動にあたるとともに、より様々な方法での情報収集や発信を選択し行うことができる力を身に付けていく必要がある。

- 本単元では、中津川を題材に、「環境保全」「盛岡市の歴史・文化」について調べる活動を中心に展開する。中津川は、盛岡市の中心部を流れ、市民に愛される川である。春は色とりどりの花に包まれ、夏にはアユ、秋には遡上・産卵するサケがみられる。また、周辺には擬宝珠のある橋や、江戸時代から続く商家や土蔵、赤レンガの銀行などの明治の洋風建築等があり、盛岡市の歴史や文化を感じることができる場所でもある。この題材は、子どもたちにとって身近であると同時に、周辺環境や環境を守る人々の存在など、子どもたちが気づいていない要素が多いと考えられる。中津川に触れることで、子どもたちは中津川の様々な魅力に気づくと同時に、その裏に隠れている人々の存在に気づいたり、これまで気に留めていなかったことやものに気づいたりして、新たな疑問が生まれるはずである。多種多様な追究課題が生まれやすく、子どもたちが意欲的に課題追究を継続する題材になりうることから、付けたい力と照らし合わせて、適切な題材といえる。
- 指導に当たっては、次の三点に留意する。

一点目は、**思いや願いを共有する単元の導入【手だて1】**である。子どもたちは三年生で学区の宝について学習している。三年生での学びを想起させながら、学習の範囲を学区から市へと広げていくことができるようにする。その際、写真や地図などの視覚に訴える資料を複数用意し、それらをつないで子どもたちが中津川周辺に焦点を当て、追究したいという思いをもたせる。

全校研究とのかかわり【つなぐ】

二点目は、**探究的な見方・考え方を基にした学びのサイクル【手だて2】**である。子どもたちは中津川の散策を通して様々なことに気づき、それぞれが違う探究課題をもつはずである。それぞれの課題を解決するためには、何を使ってどのように調べればよいのか判断する必要がある。子どもたちが考える探究課題を想定し、課題を解決するための手段をあらかじめ用意し、子どもたちが選べるようにする。課題解決の手段を示すとともに、それぞれの手段のよさについて考えさせ、子どもたち自身が課題に応じて適切に選んで使えるようにする。**全校研究とのかかわり【えらぶ・つかう】**

三点目は、**探究的な見方・考え方を基にした振り返り【手だて2】**についてである。子どもたちは、探究活動を通して中津川を中心とした盛岡市の魅力を発見するとともに、それを誰かに伝えたり、これからの生活に生かしたりしたいという願いをもつであろう。伝えたい相手によって、その発信方法や表現は変わってくる。誰に伝えたいか、相手意識をもって探究できるようにする。そして、様々な表現方法を例示し、最も適した内容と方法を選択できるようにする。**全校研究とのかかわり【つなぐ】**

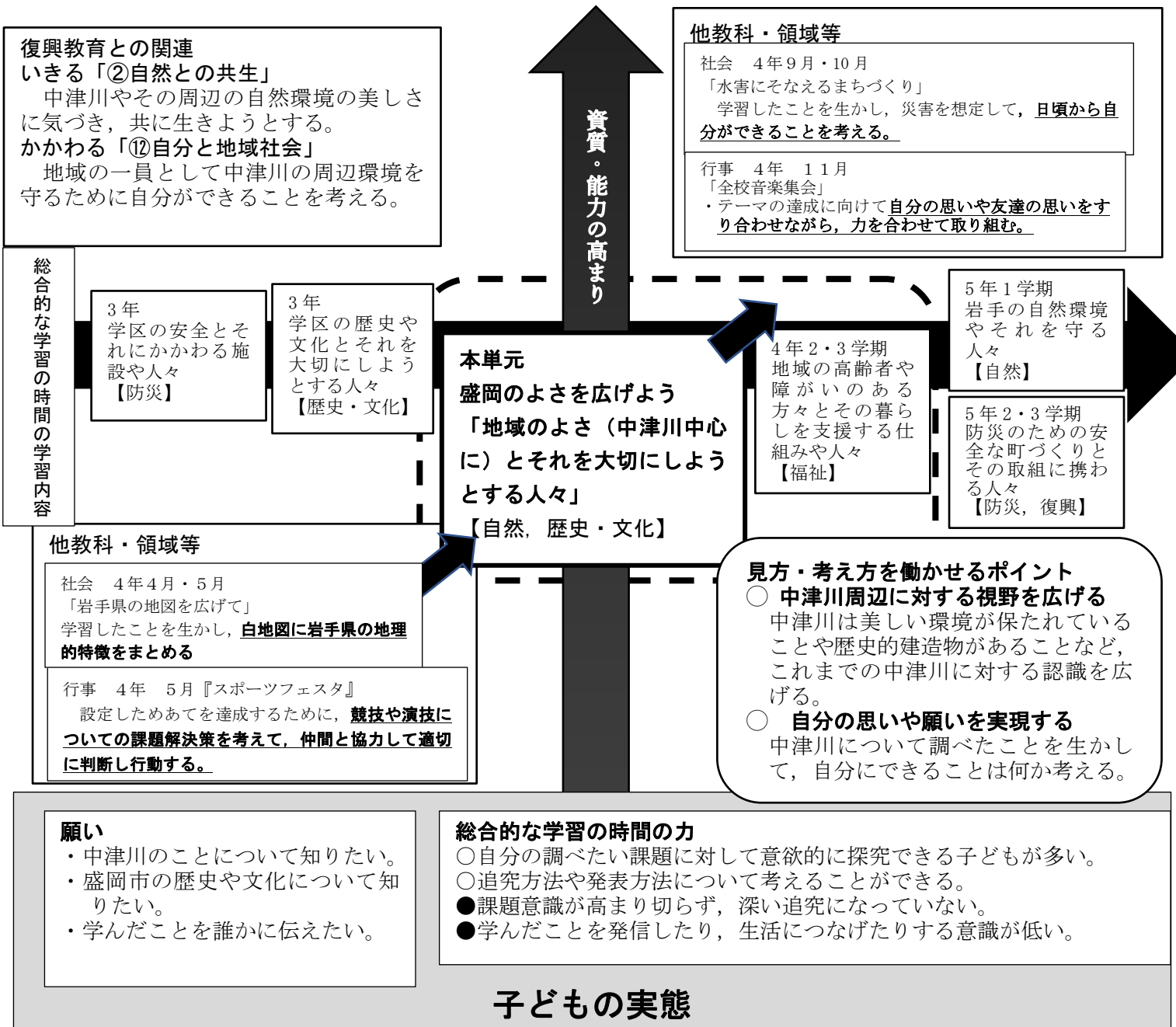
2 学びの文脈に基づいた単元構想図

単元の目標

中津川や中津川周辺の探究活動を通して、地域のよさやそれを守ろうとする人々の工夫や思いに気づき、これからの中津川周辺の在り方について考えるとともに、環境保全に取り組んだり、歴史・文化を伝えることの大切さを感じたりしながら生活していくことができるようにする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①中津川周辺には大切にされてきた豊かな自然環境や歴史・文化といったよさがあることや、それを守ろうとしている人々の工夫や思いを理解している。 ②中津川についての探究活動を目的や対象に応じた適切さで実施している。 ③中津川周辺の環境や歴史・文化に対する自らの意識の高まりは、探究的に学習してきたことの成果であると感じている。	①中津川や中津川周辺の探究活動を通して、自らの探究課題を見つけ出している。 ②課題解決に必要な情報について、手段を選択して収集したり、蓄積したりしている。 ③課題解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連づけたりしながら解決に向けて考えている。 ④相手や目的に応じて、中津川のよさを文章や図、写真などを使って効果的にまとめることができる。 ⑤学んだことを振り返り、これからの学習や生活に生かそうとしている。	①自分自身で設定した課題の解決に向けて、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。 ②自分とは違う意見や考えのよさを生かしながら協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③中津川のために自分でできることを考えることを通して、自分と身近な環境との関わりを見直そうとしている。



時	○学習活動 働かせる見方・考え方	◆研究の手立て	評価 (評価方法)
第1次 中津川はどんなところか探ろう	○盛岡の宝について話し合う。 ○中津川周辺を探検する。 ○探検して気づいたことを出し合 って、探究課題を決め、解決の 見通しをもつ。	手だて1 思いや願いの共有 ◆中津川に対する思いや願 いを持ち、課題を設定す る。 ◆解決の方法や手順を考 え、課題解決の見通しをも つ。【つなぐ】	【態①】 自分なりの追究の視点をもって意欲的に活動 している。(発言・観察・ノート) 【思①】 中津川を探検したことやこれまでの経験を基 に話し合い、学習の見通しをもつことができ る。(発言・観察・ノート)
第2次 「中津川のよさを探ろう」	○探究計画を立てる。 ○中津川周辺での活動をする。 ○自分の設定したテーマについて 様々な方法を使って情報を集め る。 ○個人テーマについてまとめる。 ○これまで調べて分かったことを 整理・分析し、中津川のよさを 探る。(本時第21時) 中津川周辺に対する視野を広げる	手だて2 ア探究的な見方・考 え方を基にした学びのサイ クル ◆情報収集の手段を選ぶ。 ◆必要な情報を選び、蓄積す る。 【つなぐ・えらぶ】 ◆問題状況における事実や 関係を把握し、理解する。 ◆情報を比較したり関連付 けたりして課題解決に向け て考える。 【えらぶ・つかう】	【態①】 設定した課題についての解決方法や手順を 考え、見通しを持って追究しようとしてい る。(発言・観察・ノート) 【知②】 目的や対象に応じた適切さで中津川周辺で の探究活動を行っている。(発言・観察) 【思②】 本やインターネットの活用、かかわる人々 との交流等を通して情報を収集したり、必要 な情報を選んだりしている。(発言・観察・ ノート) 【思④】 個人テーマについて調べた内容を分かりや すくまとめている。(新聞) 【思③】 これまでに収集した情報を比較したり・分 類したり、関連付けたりして考えたりして いる。(発言・観察・ノート) 【知①】 探究活動を基に、地域のよさやそれを守ろ うとする人々の工夫や思いを理解している。 (発言・観察・ノート) 【態②】 自分とは違う意見や考えのよさを生かしなが ら協働して課題解決に取り組もうとしている。 (発言・観察・ノート)
第3次 「中津川から盛岡のよさを広めよう」	○伝える相手を意識して、中津川 のよさを伝える。 自分の思いや願いを実現する ○中津川を紹介し合う。 ○学習全体をまとめる。	手だて2 見方考え方を 基にした振り返り ◆相手や目的に応じて まとめ表現する。 ◆学習の進め方や仕方 を振り返り、学習や 生活に生かそうとす る。 【つかう・つなぐ】	【思④】 相手の立場を考えながら、情報発信の仕方 や表現方法を工夫している。(発言・観察・ ノート) 【態③】 中津川周辺について知ることを通して、自 分たちにできることを考え行動しようとし ている。(発言・観察・ノート) 【知③】 中津川周辺について探究してきたことで、 環境や歴史・文化に対する意識の高まりを自 覚している。(発言・観察・ノート) 【思⑤】 学んだことを振り返り、これからの学習や 生活に生かそうとしている。 (発言・ノート)

Ⅲ 本時の指導

1 目標

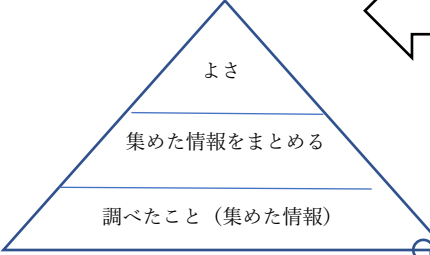
○ 個人で探究してきたテーマを持ち寄り、複数の情報を整理・分析して伝えたい中津川のよさを考えることができる。

2 評価規準 【思考・判断・表現】

中津川のよさを伝えるという課題を解決するために、これまでに収集した情報を比較したり・分類したり、関連付けたりして中津川のよさを考えている。(発言・観察・ノート)
(努力を要する状況の児童への手立て)

自分が調べたことと、友達が調べたことを比べて、似ているところや共通して関わっている点はないか、友達と一緒に探したり、考えたりするよう声をかける。

3 展開 (21 / 25時)

階段	学習活動 ○発問	時間	◆研究にかかわる手立て 予想される子どもの反応	・留意点 【評価】
導入	<p>1 学習課題の設定 ○一人一人が調べたことで、中津川のよさがたくさんあることが分かりました。これを分かりやすく伝えるには、どうしたらよいでしょう。</p> <p>調べたことの中から、伝えたい中津川のよさをまとめよう。</p>	5	<p>手だて2 見方・考え方を基にした見通し ◆これまでの個人での探究活動で分かったことを中津川のよさとして価値づけるとともに、分かりやすく伝えるために中津川のよさを短い言葉でまとめようとする課題意識を醸成する。 →【つなぐ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返るとともに、単元のゴールを意識させる。 あらかじめ、グループを作っておく。違う内容を調べた子どもで構成する。
展開	<p>2 情報の整理の仕方について確認する。 ○短くまとめるにはどうすればよいでしょうか。 「くらべる」 「似ているものに見出しをつける」</p> <p>○それぞれのグループで、一人一人が調べたことをもとに、ピラミッドチャートを使って整理しましょう。</p>  <p>3 グループで話し合い、情報を整理・分析して、伝えたい中津川のよさをまとめる。 ○調べたことをもとに、伝えたい中津川のよさを短くまとめましょう。</p> <p>4 グループで考えた内容を交流する。 ○それぞれのグループで話し合っでまとめたことを発表しよう。 ○みんなの発表を聞いて、中津川のよさについて、改めて気づいたことを発表しましょう。</p>	8 15 10	<p>たくさんのよさを短い言葉でまとめたいけれど、みんなが調べたことができるだけ多く入るようにしたいな。うまく情報を整理するために使えるものはないかな。</p> <p>手だて2 探究的な見方・考え方を基にした学びのサイクル 調べたものを考えるための技法を用いて比較・分類・関連付けして整理する。 →【えらぶ・つかう】</p> <p>それぞれ調べてわかったことの共通点はないかな。 植物がたくさんあることと生き物がたくさんいることはまとめられそうだ。</p> <p>自然の豊かさだけでなく、盛岡の文化もつまっているんだね。 昔から大切にされてきたこともわかったよ。</p> <p>手だて2 探究的な見方・考え方を基にした学びのサイクル ◆それぞれのグループの発表から、中津川のよさについて考えを広げる。→【つなぐ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ピラミッドチャートを提示し、使い方を確認する。 集めた情報を選び、グループ化して、伝えたい中津川のよさを短くまとめていくことを伝える。 <p>【思判表】 情報を比較したり・分類したり、関連付けたりして中津川のよさを考えている。 (発言・観察・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループが視点に沿って活動できているか見取り、声をかける。
終末	<p>5 本時の活動を振り返り、次の時間の見通しをもつ。 ○今日まとめることができた中津川のよさをどのように伝えたいですか。</p>	7	<p>手だて2 見方考え方を基にした振り返り ◆明らかになったことをどう伝えたいかを問うことで、中津川のよさを伝える活動に対する意欲や期待感につなげる。→【つなぐ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの振り返りを受容的に受け止める。

